

研究者プロフィール

一般科目（文科系） Dept. of Liberal Arts (Humanities and Social Science)

—英語教育学 TESOL—

徳永 美紀 TOKUNAGA Miki

研究業績（論文・著書・その他の活動）



- [1] Investigating fluency and accuracy of Japanese university EFL learners' spoken English production. *Journal of English Teaching*, 7(2), 165-178. (2021)
- [2] Exploring English grammar knowledge and written production of Japanese EFL learners. *Studies in English Teaching and Learning in East Asia*, 6, 51-69. (2017)
- [3] Exploring metalinguistic knowledge of low to intermediate proficiency EFL students in Japan. *SAGE OPEN*, 4(4), 1-10. (2014)
- [4] Students' assumptions for TOEIC classes. *JALT 2007 Conference Proceedings*, 2007, 257-271. (2008)

外国語を学ぶ際、近年は「文法は気にせず、とにかく話そう！」といった傾向がありますが、文法を無視して、本当に誤解なくコミュニケーションがとれるでしょうか？母国語は生活の中で自然と身に付きますが、日本のように実生活で英語がほとんど必要ない環境で英語を習得するには、まず知識を習得し、それが使えるようになるために練習を繰り返す事が大切です。そのためにはどのような学習方法が効果的であるか、そして学んだ知識を実践で役立てるためにはどのような練習が効果的であるのかに注目し、研究を行っています。授業では、学生がしっかり知識を習得できるような指導、そしてそれらの知識が読む、書く、聞く、話すという技能につながるような練習を心掛けています。

研究分野キーワード

英語教育, EFL, Accuracy and Fluency, Knowledge and Skills, Skill Acquisition Theory